

圧巻 天空ショー

川面を染めたぎふ長良川花火大会の超ウルトラワイドスターメイン＝9日午後8時38分、岐阜市、長良川河畔(撮影・堀岡人)



600超ワイドスターメイン 川面照らす

長良川の花火はやっぱり最高。「第3回ぎふ長良川花火大会」は、夏夜に1万発の色とりどりの大輪が次々と打ち上がり、県都を明るく照らした。浴衣姿の家族連れやカップルが訪れた人たちは、岐阜の夏の風物詩を思い思いの場所から眺め、1時間を越える幻想美に酔っていた。

開始数時間前か、続々と来場者が河原を埋め尽くし、今か今かと幕開けを待ち望んだ。妻と義母の3人で訪れた公務員佐藤勉さん(50)「開市」は「毎年工夫がされて良くなっていると感じる。今年も楽しみ」と心待ちにしていた。

午後7時30分ごろ、音楽に合わせて「ドンッ」という音とともに、花火が打ち上がる「わぁ」とあちこちから歓声が上がった。打ち上げ幅600以上の「超ウルトラワイドスターメイン」や「清流ブルー」をイメージした青の花火で幻想的な間が演出され、岐阜ならではの花火をスマートフォンの撮影しながら楽しむ姿が多く見られた。

姉や娘と訪れた会社員東倉豊さん(70)「各務原市は「スマートフォン」の画面に収まりきれないほど大きな花火に感動した」と興奮気味。船側観覧船から眺めた会社員河合大輔さん(40)「愛知県刈谷市」は「船から花火を見るなんて、初めての体験。水面に映る

岐阜城の最上階から夜景と花火を楽しむ「天守閣席」の来場者＝9日午後、岐阜市、金華山頂



花火見下ろす特別感

今年から新設された金華山頂の岐阜城の貸し切り観覧シート「岐阜城天守閣席」では、描述で述べた一組のグループが、数珠になったように、岐阜城天守閣席は、金華山麓と山頂をつなぐ「ぎふ金華山ロープウェイ」の往復乗車を各50万円で販売。ふると納税の返礼品を含め約3週間で185件の応募があった。

初「天守閣席」チケットを手にしたのは、物流会社に勤める愛知県豊明市の伊藤裕夫さん(52)。地元の人から20人ほど、一緒に訪れた。伊藤さんは「ここは個々が見えていたのと同じ場所」と仲間と説明しながら、若い頃からずっと花火を見下ろしたと思っていて、お盆を出す(も)運送しない、買えない体験」と笑って話していた。

岐阜城天守閣席を満喫

平和願ひ点火
点火式には、大会実行委員会の栗橋正直岐阜市長、村瀬幸雄岐阜商工会議所会頭、矢島豊岐阜新聞社長、大島宇一郎中日新聞社長が臨んだ。

4人がカウントダウンで点火ボタンを押すと、楽曲とともに平和を願う大輪が盛大に打ち上がった。栗橋市長は「多くの方の協力を得ながら、今日を迎えることができた。皆さんの幸せを願うとともに、平和への思いを共有したい」と語り、村瀬会頭は「天候に恵まれ、絶好の花火日和準備ができた」と話した。



点火ボタンを押す左から矢島豊岐阜新聞社長、栗橋正直岐阜市長、村瀬幸雄岐阜商工会議所会頭、大島宇一郎中日新聞社長。9日午後8時32分



江崎知事に観覧

会場には江崎知事らから、迫力満点の長良川の花火を堪能した。江崎知事は「長良川の川幅を十分に生かした見事なプログラム」と語った。

来賓として、十六フィナンシャルグループの池田直樹社長、大垣共立銀行の林



花火を眺める江崎裕英知事(中央)＝9日午後、同
敬治頭取、J A岐阜中央会の櫻井宏代表理事会長、名古屋鉄道安藤隆司会長、中部地方整備局の森本輝局長らも観覧した。

お礼

第3回ぎふ長良川花火大会は、盛況のうちに無事に終了することができました。国土交通省、岐阜県、岐阜県警察本部、岐阜中・北・南警察署、岐阜市消防本部、岐阜中・北消防署など関係機関、地元自治会、地域住民の皆さま、ご協賛いただいた企業のご支援とご協力に厚くお礼申し上げます。
ぎふ長良川花火大会実行委員会